

## 平成30年度 第2四半期決算 社長談話

今年度上期は、9月に台風21号と北海道胆振東部地震が連続して発生し、北海道全体が大きな影響を受け、当社においても道内全域で列車を運休するなど、お客様にご迷惑とご不便をおかけすることとなりました。9月末日までの列車の運休本数は、新幹線を含め7,743本と、9月としては昨年の10倍近く列車を運休させることとなりました。

今年度は通期で、台風及び震災による鉄道運輸収入の減収が17億円、鉄道施設の復旧費用等が6億円、このほかグループでも路線バスの運休、小売業での店舗の休業、ホテル業での宿泊予約のキャンセルなど様々な影響を受けることが見込まれます。

第2四半期決算では、連結営業収益が828億円となり前年度に対して34億円の減収となりました。また、連結営業利益は170億円の赤字となり、前年度に対して23億円拡大し、経営安定基金の運用収益などを加えた連結経常利益は1億円の赤字となりました。

これらの状況を踏まえ下期は、北海道胆振東部地震からの復興に向けたオール北海道での取り組みに全力であたり、収益を確保する一方で、費用の削減にも努めますが、今年度の連結通期業績予想は最終利益を35億円下方修正した175億円の赤字にせざるを得ない状況にあります。

引き続き安全の再生に全力で取り組むとともに、7月に国土交通大臣から受けた「事業の適切かつ健全な運営に関する監督命令」に基づき、平成31年度から平成35年度までの「中期経営計画」及び平成31年度から平成43年度までの「長期経営ビジョン」を策定して、経営改善を確実に進めてまいります。

今後とも皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月9日  
北海道旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 島田 修

# 平成 30 年度 第 2 四半期決算のポイント

平成 30 年 11 月 9 日  
北海道旅客鉄道(株)

## 【第 2 四半期決算】

### ○連結決算のポイント

- ・営業収益は、9月に発生した台風 21 号及び北海道胆振東部地震により、運輸業セグメントで鉄道運輸収入が 14 億円減少するなど、大きな影響を受けました。これらの影響も合わせ、営業収益は前年に対して 34 億円減少した 828 億円となりました。
- ・営業費用は、安全の再生のため J R 北海道で修繕費が増加しましたが、その他の費用が減少したことと、グループ会社においても売上の減少に対応した費用の減少などもあり前年に対して 10 億円減少した 998 億円となりました。
- ・営業利益は、170 億円の赤字となり、第 2 四半期連結決算の公表を開始した平成 12 年度以降、過去最大の赤字となりました。
- ・営業外損益において経営安定基金資産の評価益を一部実現化しましたが、経常利益は 1 億円の赤字となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は 11 億円の赤字となりました。

### ○連結通期業績予想のポイント

- ・営業収益は、鉄道運輸収入において震災の影響により年間 17 億円の減収を見込み、グループ全体では 25 億円減収となる見通しです。
- ・営業利益は、J R 北海道の修繕費や震災のバス代行経費等の増加を計画することから 25 億円下方修正し、連結でも同額の下方修正をした 425 億円の赤字です。
- ・特別損失に、震災の復旧費用 5 億円を計画することから、単体の当期純利益は 209 億円の赤字となり、連結の親会社株主に帰属する当期純利益は 175 億円の赤字となる大変厳しい見通しです。

(単位：億円)

	J R 北海道グループ (連結)			J R 北海道 (単体)		
	前年実績 (a)	実 績 (b)	増 減 (b-a)	前年実績 (c)	実 績 (d)	増 減 (d-c)
営業収益	863	828	△ 34	450	435	△ 14
[うち鉄道運輸収入]	[ 366]	[ 350]	[ △ 16]	[ 366]	[ 350]	[ △ 16]
(再掲 新幹線運輸収入)	( 48)	( 46)	( △ 2)	( 48)	( 46)	( △ 2)
営業費用	1,009	998	△ 10	647	647	0
営業利益	△ 146	△ 170	△ 23	△ 197	△ 212	△ 14
営業外損益	160	168	7	175	185	9
[うち基金運用収益]	[ 133]	[ 142]	[ 8]	[ 133]	[ 142]	[ 8]
[うち特別債券利息]	[ 27]	[ 27]	[ -]	[ 27]	[ 27]	[ -]
経常利益	14	△ 1	△ 16	△ 21	△ 26	△ 4
特別損益	9	3	△ 5	29	3	△ 26
税金等調整前四半期純利益	23	1	△ 21	7	△ 23	△ 31
四半期純利益	16	△ 6	△ 23	7	△ 23	△ 31
親会社株主に帰属する四半期純利益	10	△ 11	△ 22	-	-	-

(注) 1. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2. J R 北海道 (単体) における税金等調整前四半期純利益欄は、税引前四半期純利益の金額を表示しております。

## 【平成 30 年度通期業績予想】

(単位：億円)

	J R 北海道グループ (連結)			J R 北海道 (単体)		
	年初業績予想 (a)	通期業績予想 (b)	増 減 (b-a)	事業計画 (c)	通期業績予想 (d)	増 減 (d-c)
営業収益	1,705	1,680	△ 25	901	884	△ 17
営業利益	△ 400	△ 425	△ 25	△ 495	△ 520	△ 25
経常利益	△ 110	△ 135	△ 25	△ 189	△ 214	△ 25
親会社株主に帰属する当期純利益 (単体は当期純利益を表示)	△ 140	△ 175	△ 35	△ 179	△ 209	△ 30

## 1 連結損益計算書

(単位：億円)

	平成29年度	平成30年度	増減	比率(%)
営業収益	863	828	△34	96.0
(うち鉄道運輸収入)	(366)	(350)	(△16)	(95.6)
(再掲 新幹線運輸収入)	(48)	(46)	(△2)	(95.6)
営業費用	1,009	998	△10	98.9
[運輸業等営業費及び売上原価]	[875]	[865]	[△10]	[98.8]
[販売費及び一般管理費]	[133]	[132]	[△0]	[99.7]
営業利益	△146	△170	△23	—
営業外損益	160	168	7	104.7
(うち経営安定基金運用収益)	(133)	(142)	(8)	(106.5)
(うち特別債券受取利息収益)	(27)	(27)	(—)	(100.0)
経常利益	14	△1	△16	—
特別損益	9	3	△5	39.1
税金等調整前四半期純利益	23	1	△21	7.5
法人税等	7	8	1	117.7
四半期純利益	16	△6	△23	—
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	5	△1	82.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	10	△11	△22	—

連結包括利益 平成29年度 58億円 平成30年度 △13億円

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 2 セグメント情報

(単位：億円)

		運輸業	小売業	不動産 賃貸業	ホテル業	その他	合計	調整額	連結損益 計算書計上額
平成 30 年度	売上高								
	外部顧客への売上高	443	173	125	41	44	828	—	828
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	28	0	6	0	140	176	△176	—
	計	472	173	131	41	184	1,004	△176	828
	セグメント利益	△222	4	35	7	6	△167	△2	△170
増 減	売上高								
	外部顧客への売上高	△23	△8	△0	△0	△1	△34	—	△34
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	△0	△0	0	△0	△5	△5	5	—
	計	△24	△8	△0	△0	△6	△40	5	△34
	セグメント利益	△19	0	△2	△0	△0	△21	△2	△23

(注) 1. セグメント利益は、営業利益を表示しております。

2. 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

### 3 連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成29年度 期 末	平成30年度 第2四半期末	増 減	比率(%)
[資産の部]				
流 動 資 産	676	782	106	115.7
固 定 資 産	3,684	3,670	△ 13	99.6
(うち有形固定資産)	( 3,522 )	( 3,511 )	( △ 11 )	( 99.7 )
(うち無形固定資産)	( 59 )	( 51 )	( △ 7 )	( 87.6 )
経 営 安 定 基 金 資 産	7,615	7,605	△ 10	99.9
機 構 特 別 債 券	2,200	2,200	—	100.0
資 産 合 計	14,176	14,258	82	100.6
[負債の部]				
流 動 負 債	608	574	△ 33	94.4
(うち1年以内返済長期借入金)	( 72 )	( 71 )	( △ 0 )	( 99.6 )
固 定 負 債	2,031	2,165	133	106.6
(うち長期借入金)	( 1,069 )	( 1,233 )	( 163 )	( 115.3 )
機 構 特 別 債 券 引 受 借 入 金	2,200	2,200	—	100.0
負 債 合 計	4,840	4,939	99	102.1
純 資 産 合 計	9,336	9,319	△ 16	99.8
(うち利益剰余金)	( 180 )	( 168 )	( △ 11 )	( 93.4 )
負 債 純 資 産 合 計	14,176	14,258	82	100.6

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

### 4 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成29年度	平成30年度	増 減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(I)	98	52	△ 46	52.8
投資活動によるキャッシュ・フロー(II)	△ 75	△ 61	13	82.2
(固定資産取得による支出)	( △ 153 )	( △ 150 )	( 2 )	( 98.4 )
(設備投資助成金による収入)	( 57 )	( 71 )	( 14 )	( 124.5 )
フリー・キャッシュ・フロー(I)+(II)	23	△ 9	△ 33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー(III)	49	157	107	315.9
(長期借入金の借入による収入)	( 188 )	( 199 )	( 10 )	( 105.7 )
(長期借入金の返済による支出)	( △ 38 )	( △ 36 )	( 1 )	( 95.0 )
(非支配株主への配当金の支払額)	( △ 3 )	( △ 3 )	( 0 )	( 93.3 )
現金及び現金同等物の増減額(I)+(II)+(III)	73	148	74	201.5
現金及び現金同等物の四半期末残高	257	397	140	154.4

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

【参考：JR北海道単体決算】

1 単体損益計算書

(単位：億円)

	平成29年度	平成30年度	増減	比率(%)
営業収益	450	435	△ 14	96.8
鉄道運輸収入 (うち新幹線運輸収入)	366 ( 48 )	350 ( 46 )	△ 16 ( △ 2 )	95.6 ( 95.6 )
関連事業収入	30	33	3	110.5
その他収入	53	52	△ 1	97.3
営業費用	647	647	0	100.0
人件費	224	222	△ 2	98.7
動力費	24	25	0	103.6
修繕費	151	156	5	103.6
諸税	16	16	△ 0	99.0
減価償却費用	114	113	△ 1	98.4
その他費用	115	114	△ 1	98.9
営業利益	△ 197	△ 212	△ 14	—
営業外損益	175	185	9	105.6
(うち経営安定基金運用収益)	( 133 )	( 142 )	( 8 )	( 106.4 )
(うち機構特別債券受取利息収益)	( 27 )	( 27 )	( — )	( 100.0 )
経常利益	△ 21	△ 26	△ 4	—
特別損益	29	3	△ 26	11.8
税引前四半期純利益	7	△ 23	△ 31	—
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	134.8
四半期純利益	7	△ 23	△ 31	—

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

2 鉄道輸送量及び鉄道運輸収入

	平成29年度	平成30年度	増減	比率(%)	
輸送人員	千人 定期 (うち新幹線)	40,235 ( 5 )	40,260 ( 5 )	25 ( 0 )	100.1 (100.0)
	定期外 (うち新幹線)	29,037 ( 1,055 )	28,440 ( 954 )	△ 597 (△ 101)	97.9 ( 90.4 )
	合計 (うち新幹線)	69,271 ( 1,060 )	68,700 ( 959 )	△ 571 (△ 101)	99.2 ( 90.5 )
輸送人知	百万人知 定期 (うち新幹線)	766 ( 0 )	763 ( 0 )	△ 3 ( 0 )	99.6 (125.5)
	定期外 注2(うち新幹線)	1,441 ( 154 )	1,385 ( 157 )	△ 56 ( 3 )	96.1 (101.7)
	合計 (うち新幹線)	2,206 ( 154 )	2,148 ( 157 )	△ 59 ( 3 )	97.3 (101.8)
鉄道運輸収入	億円 定期 (うち新幹線)	58 ( 0 )	58 ( 0 )	0 ( 0 )	100.3 (126.6)
	定期外 (うち新幹線)	308 ( 48 )	292 ( 46 )	△ 16 (△ 2)	94.7 ( 95.6 )
	合計 (うち新幹線)	366 ( 48 )	350 ( 46 )	△ 16 (△ 2)	95.6 ( 95.7 )

(注) 1 鉄道運輸収入は億円未満を切り捨てて表示しております。

2 平成30年度よりフリータイプ特別企画乗車券の一部の実績を新幹線に計上するように変更したため、新幹線の対前年比率が高くなっています。

### 3 単体貸借対照表

(単位：億円)

	平成29年度 期 末	平成30年度 第2四半期末	増 減	比率(%)
[資産の部]				
流 動 資 産	346	443	96	127.9
固 定 資 産	3,124	3,117	△ 6	99.7
(うち有形固定資産)	( 2,711 )	( 2,721 )	( 10 )	( 100.3 )
(うち無形固定資産)	( 44 )	( 36 )	( △ 7 )	( 82.7 )
経営安定基金資産	7,615	7,605	△ 10	99.9
機 構 特 別 債 券	2,200	2,200	—	100.0
資 産 合 計	13,286	13,366	79	100.6
[負債の部]				
流 動 負 債	481	447	△ 33	93.0
(うち1年以内返済長期借入金)	( 47 )	( 47 )	( △ 0 )	( 99.6 )
固 定 負 債	1,723	1,866	143	108.3
(うち長期借入金)	( 943 )	( 1,119 )	( 175 )	( 118.6 )
機構特別債券引受借入金	2,200	2,200	—	100.0
負 債 合 計	4,404	4,514	110	102.5
純 資 産 合 計	8,882	8,851	△ 30	99.6
(うち利益剰余金)	( △ 116 )	( △ 140 )	( △ 23 )	( — )
負 債 純 資 産 合 計	13,286	13,366	79	100.6

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

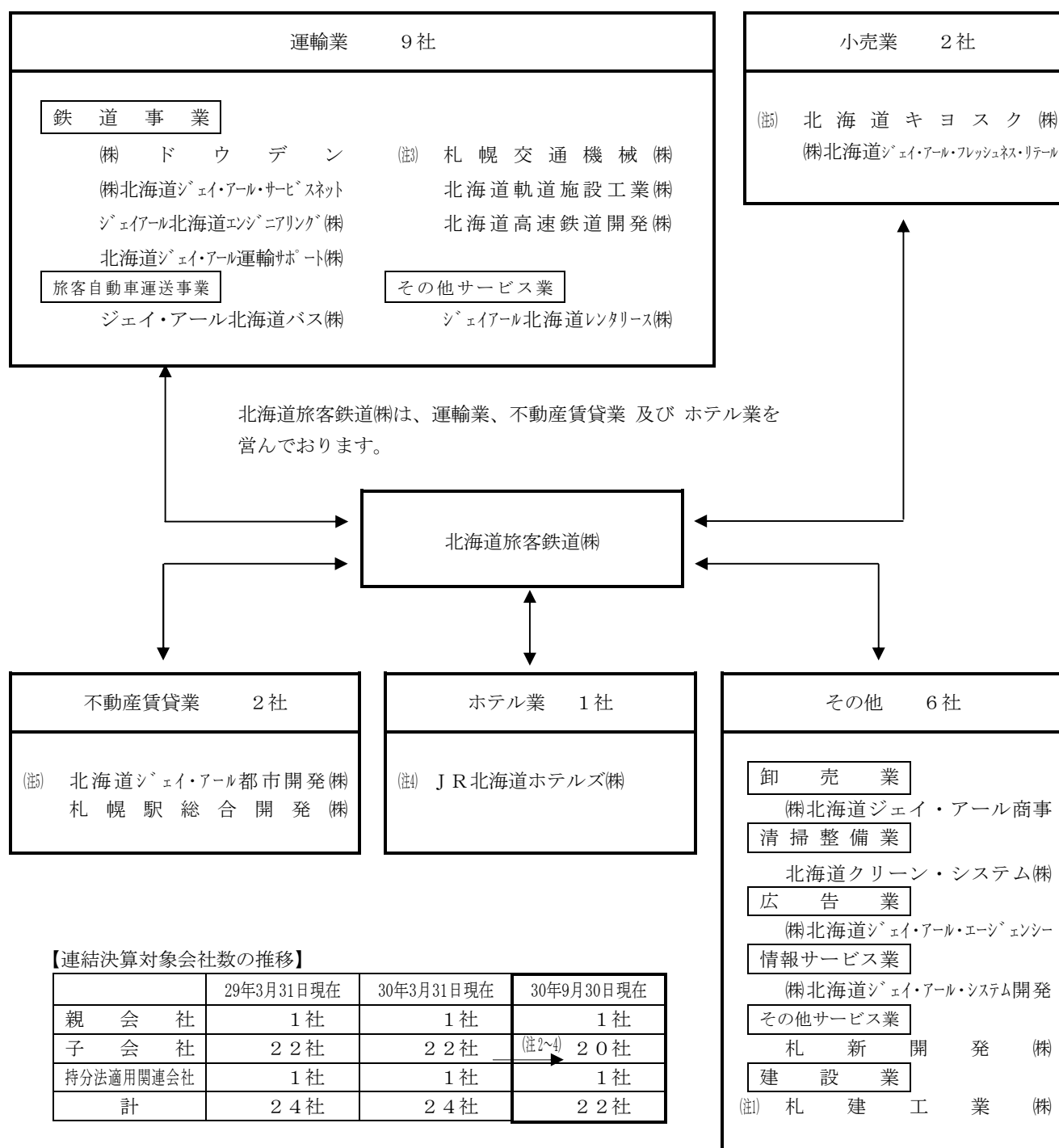
### 4 個別キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成29年度	平成30年度	増 減	比率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー(I)	39	10	△ 28	27.3
投資活動によるキャッシュ・フロー(II)	△ 34	△ 38	△ 4	114.0
(固定資産取得による支出)	( △ 134 )	( △ 126 )	( 8 )	( 94.0 )
(設備投資助成金による収入)	( 57 )	( 71 )	( 14 )	( 124.5 )
フリー・キャッシュ・フロー(I)+(II)	5	△ 28	△ 33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー(III)	65	171	105	261.4
(長期借入金の借入による収入)	( 188 )	( 199 )	( 10 )	( 105.7 )
(長期借入金の返済による支出)	( △ 24 )	( △ 23 )	( 0 )	( 98.6 )
現金及び現金同等物の増減額(I)+(II)+(III)	70	143	72	202.0
現金及び現金同等物の四半期末残高	113	211	98	186.9

(注) 金額は億円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結決算対象会社の概要



### 【連結決算対象会社数の推移】

	29年3月31日現在	30年3月31日現在	30年9月30日現在
親会社	1社	1社	1社
子会社	22社	22社	(注2~4) 20社
持分法適用関連会社	1社	1社	1社
計	24社	24社	22社

- (注) 1. 札幌建工業(株)は、持分法適用関連会社です。  
 2. 子会社数20社には、上記概要図に記載していない、JR札幌病院に関する「匿名組合ジェイエイチホスピタルアセットホールディングズ」を含めております。  
 3. 札幌工営(株)は、札幌交通機械(株)と合併し、消滅しております。  
 4. (株)北海道JRインマネジメントは、JR北海道ホテルズ(株)と合併し、消滅しております。  
 5. 北海道キヨスク(株)及び北海道ジェイ・アール都市開発(株)は、損益の一部をホテル業に区分しております。

平成30年度 第2四半期 連結決算対象会社の経営成績

(単位：百万円、単位未満切捨)

会 社 名		実質 持分 比率 (%)	経営成績（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）							
			営 業		営 業		経 常		四 半 期	
			収 益	対前期増減	利 益	対前期増減	利 益	対前期増減	純 利 益	対前期増減
運 輸	ジェイ・アール北海道バス(株)	100	3,932	▲100	242	▲67	226	▲68	150	▲57
	(株)ドウデン	100	2,779	▲114	12	▲39	16	▲64	10	▲44
	(株)北海道ジェイ・アールサービスネット	100	766	14	78	21	78	21	48	14
	ジェイ・アール北海道エンジニアリング(株)	100	1,298	38	12	▲28	13	▲28	7	▲18
	北海道ジェイ・アール運輸サポート(株)	79	2,502	63	23	4	32	4	17	3
	ジェイ・アール北海道レンタリース(株)	75	768	23	56	0	57	0	36	▲2
	札幌交通機械(株)	73	3,024	238	44	▲42	95	▲43	54	54
	北海道軌道施設工業(株)	66	4,432	903	340	▲66	327	▲49	211	▲32
	北海道高速鉄道開発(株)	50	349	-	101	12	102	13	56	▲5
小 売	北海道キヨスク(株)	100	8,572	▲648	364	62	366	60	304	125
	(株)北海道イオンフレッシュネス・リテール	100	8,864	▲243	125	11	126	12	59	▲10
不 動 産	北海道ジェイ・アール都市開発(株)	100	2,586	▲11	191	▲37	184	▲31	119	▲23
	札幌駅総合開発(株)	62	10,156	▲50	1,574	▲426	1,561	▲422	1,052	▲259
ホテル	J R 北海道ホテルズ(株)	100	4,110	▲1	596	▲68	490	▲183	338	▲130
そ の 他	(株)北海道ジェイ・アール商事	100	12,579	▲726	230	▲135	238	▲134	164	▲74
	北海道クリーン・システム(株)	100	3,290	123	262	89	267	49	164	37
	(株)北海道ジェイ・アール・エージェンシー	100	1,092	▲20	33	▲22	33	▲21	19	▲6
	札幌新開発(株)	100	683	▲28	114	▲4	138	▲3	86	▲5
	(株)北海道ジェイ・アール・システム開発	90	1,634	▲60	▲6	29	▲5	34	2	28
子 会 社 合 計		-	73,652	▲1,142	4,420	▲699	4,373	▲847	2,908	▲365
札幌工業(株)（持分法適用関連会社）		28	2,223	▲140	35	▲9	72	0	49	▲1
北海道旅客鉄道(株)		-	43,587	▲1,427	▲21,203	▲1,482	▲2,684	▲498	▲2,379	▲3,130
連 結 決 算 額		-	82,848	▲3,455	▲17,007	▲2,385	▲176	▲1,626	▲1,191	▲2,202

- (注) 1. 実質持分比率(少数点以下切り捨て)、資本金の順位で記載しております。  
 2. 連結決算額における四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を表しております。  
 3. 実質持分比率は平成30年9月30日現在です。  
 4. 子会社合計の対前期増減欄は、当期首に連結決算の対象から外れた2社の金額を含めているため、上記子会社の合計金額と一致しません。  
 5. 子会社合計の金額には、上表に記載のない匿名組合「ジェイエイチホスピタルアセットホールディングス」を含めております。